



あかいけ
赤池
(明和)

ひろもと
弘源



合理的配慮の提供について

問 合理的配慮の提供を進めるための市の施策を伺う。

部長 本市の事例で述べると、前回の県知事選挙から導入した視覚障がい者のための投票用紙補助具がある。障がいのある方からの申し出への対応が難しい場合であっても、障がいのある方と事業者などが互いに情報や意見を伝え合い、対話を重ねることで、ともに解決策を検討していくこと、いわゆる建設的対話が必要であるとされている。



市長 もっと市民に手広く伝えるように努めていきたいと思っている。

地域の外国人との多文化共生社会づくりについて

問 日本語を教えるだけでなく、そこから住んでいる地域と結びつけるようなコーディネーターの必要を感じるがいかがか。



部長 外国人の方には「初めての日本語教室」、これはごみの出し方や防災のことを話している。また、その方々が住んでいる地域の方には、「やさしい日本語」ということで、簡単な日本語を使ってコミュニケーションを取って、地域になじんでもらう取組を行っている。このような取組を浸透させることによって、外国人の地域になじむマナーやルールを浸透させていけると考えている。



わたなべ
渡辺
(超党派虹の会)

よしまさ
佳正



上井出地先の工場団地開発が白糸の滝の水量や周辺住民に及ぼす影響について

問 開発による森林伐採や地下水汲み上げが白糸の滝水量にどう影響すると考えるか。

部長 白糸の滝の湧水量は日量16万トンあまりで、県・市の条例に基づく地下水取水量であれば白糸の滝への大きな影響はないと考える。

問 地下水、周辺交通、富士山景観への影響などがあるので、住民説明会は事業者任せではなく、市と事業者が共同で開いていくべきと考えるが。

副市長 市の政策に基づく公共的事業であるので、地元説明会には市の担当部局も参加する。

意見 工場団地でかなりの水を使うと思う。周辺交通の問題を含め、専門家の判断も仰いで慎重に進めていただきたい。

さらなる値上げが心配される国民健康保険税(国保税)について

問 県西部など医療機関が充実している地域と、医師不足が深刻な富士医療圏域など、医療水準に関係なく保険税率が統一されると、富士宮の国保税はどうなるのか。

部長 医療費水準に関係なく統一されるので、富士宮市のように医療費水準の低い地域の国保税は上がっていく。

問 それで市民が納得するのか。市の意見を県の会議でしっかり言っているのか。

部長 県では今度何回も会議を重ねて、市町の意見も聞いた上で進めていく。

市長 県の国民健康保険運営協議会の会長という立場で、これは大変重大な問題と捉えている。国の負担を増やして市民が苦しくならないように各市町の首長と力を合わせて頑張っていく。

